



モスクワ日本人学校

Japanese School in Moscow

しらかば

学校だより No16

12月23日

モスクワ日本人学校

校長 岡本 高一

コロナ禍での教育活動を遅しく進める 校長 岡本 高一

令和3年末を迎えます。今年も保護者の皆様には、本校の教育活動をご理解頂き、ご協力を頂きましたことに感謝申し上げます。

さて、8月24日に始業した2学期の教育活動も86日間（小4、中1は85日間）の授業をお蔭様で終わることができました。後半はコロナ禍の状況に、インフルエンザの流行が重なり、感染防止に取り組みながら、通常授業を継続致しました。通常の授業を継続できたことは、保護者の皆様の感染防止に関するご協力や、高い感染防止意識に支えられていること、改めて感謝申し上げます。

その中でも「学習発表会」の開催や、現地校や同居校との交流学习、校外に出かけての体験学習を中止するのではなく、「できる形」を模索しながら、オンラインのもつ特性を活用、工夫して実施して参りました。残念ながら、同じヨーロッパの国の中には変異株の再感染のために都市封鎖をする国も出てきているようです。なかなか、感染の終息にはたどり着かない状況があり、多くの児童生徒をお預かりする学校としても、まだしばらくコロナ禍での教育活動を続ける必要があると感じています。

海外で暮らす児童生徒にとって、日本人同士のコミュニケーションをとる機会は大変重要な場であることは、言うまでもありません。学校を開けることは、この貴重な機会を確保していることと自負しています。幸い、今ではオンラインによるコミュニケーションの場も確保できています。

もちろん、児童生徒の健康を最優先しながら、対面での教育活動を更に充実させ、時にオンラインを有効に活用して、まだしばらく続くコロナ禍での教育活動を、遅しく進めて行こうと考えています。

児童生徒には2学期の成果や課題を、通知表という形でお知らせさせていただきます。学習状況の様子はもちろんですが、本校の目標でもある、児童生徒の『知・徳・体』バランスの良い成長、そして、その基盤にある人格の形成が、本校の特長を生かして進められていることをご確認頂ければと思います。お子様の頑張ったところを褒め、その成長を認め、子供の自己肯定感を確実に高め、次の少し頑張ればできる具体的な目標を与えていくことに、役立てて頂ければと思います。

年末、年始のお休みに入ります。日本へ一時帰国したり、ロシアで年越しをしたりまた、中3の生徒は受験が本格的になり、その準備を進めたりと、それぞれの冬休みを過ごすこととなります。

体調を崩さぬよう体調管理につとめ、ご家族とのひと時を大切に頂き、令和4年1月10日の3学期始業日を、子供たちが元気に迎えられればと願っております。

それでは保護者の皆様、良い年をお迎えください。（モスクワ日本人学校 職員一同）

【1月行事予定】

- 1月1日(土)～6日(木) 祝日(新年休暇)
7日(金) 祝日(ロシア正教クリスマス)
1月10日(月) 3学期始業式
11日(火) モス日ガイダンス
12日(水) 特別日課・第9回学校運営委員会
17日(月) 小123授業参観(オンライン)
書き初め展示開始(～21日)
18日(火) モス日タイム
19日(水) 中12授業参観(オンライン)
20日(木) 新入学保護者説明会・見学会
21日(金) 小456授業参観(オンライン)
23日(日) 第3回英検一次
24日(月) 全校朝会・芸術鑑賞教室
25日(火) モス日タイム
27日(木) 第3回情報伝達訓練
28日(金) 第3回避難訓練

【1月の目標】

<生活>

- ・目標に向かって努力していこう。

<健康・安全>

- ・元気に体を動かそう。



寒くても元気です！！



12/17(金) 中学部職業体験

～JAL～



2021年ありがとう 2022年どうぞよろしく

コロナ禍の中での教育活動。途中、心配な時もありましたが、各保護者の皆様の真摯な対策のおかげで、児童生徒の活動の幅を少しずつ広げながら、何とか乗り越えることができました。

しばしの冬休み。しっかり充電して、また2022年もどうぞよろしくお願いいたします。